

---

## 「膵癌における術前化学療法の有効性と治療戦略に関する後ろ向き観察研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2015年1月1日から2026年1月31日の期間で、埼玉医科大学総合医療センター、肝胆膵外科・小児外科（以下；当科）において膵癌に対する切除治療ないし、切除を目的に化学療法をお受けになられた患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

膵腫瘍、とりわけ膵癌に関しては腫瘍の存在部位の進行の具合から切除可能、切除可能境界、切除不能膵癌に分類されます。近年、化学療法や手術技術の発展とともに進行した膵癌に対しても化学療法を行うことで、切除が困難とされた症例も完全切除が可能となってきております。しかしながら、進行した膵腫瘍の術前化学療法や手術の適応基準に関し確固たるものは存在していません。今回の研究では当院の膵癌症例の周術期成績について検討することで、患者さんの治療の一助になると考えております。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2026年4月2日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

当科における病院診療録の記載内容を用いて研究を行います。そのなかには、患者さんの身体的背景、病気の情報、検査所見、画像所見、手術記録、術後経過の詳細が含まれます。

※この研究で得られた患者さんの情報は、当科において、研究責任者である竹村信行が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

膵癌に対する切除治療ないし、切除を目的に化学療法をお受けになられた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科  
研究責任者 竹村信行

## 4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科 竹村信行（担当者）

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

担当 肝胆膵外科・小児外科 竹村信行

TEL：049-228-3620（直通）（土日祝日を除く 9：00～16：00）

○研究課題名：膵癌における術前化学療法の有効性と治療戦略に関する後ろ向き観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科  
竹村信行